

アスバシが提供する3つの仕組み(高卒プロキャリア プラットフォーム)

高校生インターンシップ・推進

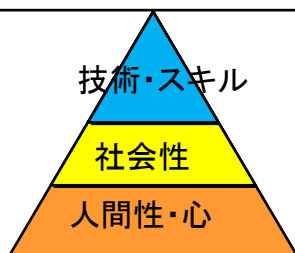
様々な形の高校生インターンシップをすべての高校へ標準装備し、高校生がいつでもどこでもなんどでも、社会に挑戦する機会を提供することで、**高校生が、プロフェッショナルキャリアを選択できる意欲と能力を育てる。**

企業と高校を結びつける、プロ・キャリア・マッチングサポート

高卒採用ができるだけスムーズにすすむよう、企業と学校の情報の媒介をすすめる。あくまでも高卒採用のルールにそって、ミスマッチがでにくいよう、相互の距離を縮めます。

アスバシ・高卒プロフェッショナルキャリア・カレッジ

企業の枠をこえて、学び合い、育ち合う、4年間のカリキュラムをもった OFF-JT 研修を、高卒採用者に提供する。この研修によって、単に、会社内の視点のみならず、幅広い社会の視点をもって、今の社内の立ち位置を活かしながら、自らの頭で考え、行動できる「中核人材」へと育てる。



アスバシ 高卒プロキャリアカレッジ

プロフェッショナル＝仕事の技術やスキルのみならず、その仕事の社会的な役割を理解し、質の高い仕事を提供することで、顧客の真のニーズに答えられる人。そのために絶えず自己研鑽をし続ける人。
「人間性・社会性の土台に、健全な技が育つ」

これまでの高卒の特徴

<特徴>

- 1) 技術を身につける素養が高い。
- 2) 素直に地道に仕事に取り組む。

<課題>

- 1) 大卒に比べ「幼い(若い)」。そのため視野が狭い。会社内の視点でしか考えない。
- 2) 自分の頭で考え、行動する力(仮説検証思考・問題解決)が不足。受動的。
- 3) 離職率が比較的高い。

新しい高卒プロキャリア人材像

1) 問題解決力

技術のみならず問題解決力、行動力をもつ。

2) 社外人的ネットワーク

社外にも刺激しあい成長し合う仲間をもつ。

3) 成長意欲・キャリア意識

主体的に、自らの成長をめざし、行動できる。

4) リーダーシップ(中核人材)

今の自らの立ち位置の中で主体的に役割を担い、周りをまきこみながら成長をめざす。

カレッジが提供するカリキュラムの特徴

- ・4年間で年間4回(3ヶ月に1回程度)のカリキュラム。研修日は、朝から丸一日研修。4年間のなかで3回程度の合宿研修も実施。
- ・PDCA(目標達成)、コミュニケーション(ディスカッション・ファシリテート)などの能力、クリエイティブ・シンキングなど、OJT では教えずらいことを教える。
- ・同期の社外の、刺激し合い、成長し合える仲間をもつ。サークル的活動。
- ・自らの成長意識。キャリアデザインを育てる。
- ・4年最後には卒業研究的なプレゼンテーション。

監修・講師(敬称略・順不同) 小山邦彦(名南経営顧問)、高山直(株式会社EQ取締役会長)、山田哲也(株式会社名大社代表取締役)、中島康滋(NPO 法人コモンビートファウンダー)、本間正人(京都造形芸術大学副学長)、毛受誉子(株式会社愛知心理教育ラボ代表取締役) 他

主催：一般社団法人アスバシ教育基金

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町 8-5 愛知私学会館東館 3F

NPO 法人アスクネット内

TEL / 052-881-4401 FAX / 052-881-5567

担当：毛受、山本



アスバシ